

たかあき かつまた 孝明 です！



昭和51年4月7日生まれ
出身 沼津市
住所 沼津市花園町
家族 父親（沼津市出身）
母親（伊豆市出身：修善寺）
妻・長男・長女・次男

経歴

〔学歴〕

しょうえい幼稚園
沼津市立門池小・門池中 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 卒業
(経営学修士：MBA取得)

〔職歴〕

平成12年4月 スルガ銀行株式会社入社
財団法人企業経営研究所 研究員
(地域経済産業分析)
経営企画部 人事担当マネージャー
平成22年12月 スルガ銀行株式会社退職
平成23年1月～ 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部 支部長
平成24年12月～ 衆議院議員（現在3期目）第4次安倍改造内閣にて環境大臣政務官
現在の主な役職 ・環境委員会 理事 ・消費者問題に関する特別委員会 理事
・財務金融委員会 委員 ・党 財務金融部会 部会長代理

いま、自民党が熱い！自民党員を大募集中！！

自民党に入党して、党員として自民党としてかつまた孝明を支えてください！

入党資格

- ・ わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- ・ 満18歳以上で日本国籍を有する方
- ・ 他の政党の党籍を持たない方

党費：一般党員 年額4,000円、家族党員 年額2,000円

申し込み方法

- ・ 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部までご連絡ください。電話、eメール、直接お越し
いただいても結構です。

お知らせ



ポスターご掲示頂ける方大募集！
事務所(055-922-5526)までご連絡ください

自由民主
LIBERAL & DEMOCRATIC



発行所：自由民主党本部
100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話：東京 03(3581)6211(代)
振替口座：東京 00180-1-19518 定価1部 105円



通信

第49号

自民党衆議院静岡県第6選挙区支部

〒410-0062 沼津市宮前町13-3

電話：055(922)5526 FAX：055(922)5527

ブログ：<http://ameblo.jp/t-katsumata>

公式サイト：<http://www.t-katsumata.com>

eメール：jimin@t-katsumata.com

静岡6区【沼津・伊東・熱海・下田・伊豆・伊豆の
国(旧菰山・大仁)・賀茂郡・駿東郡(長泉・清水)】

ボランティア大募集(6区支部まで連絡下さい)

まかつ通信の企画・配布・街頭演説サポート・ポ
スター貼りなどなど、楽しい仲間と共に！

衆議院議員（静岡県第6選挙区支部支部長）

たかあき
かつまた孝明氏

新型コロナウイルス感染症拡大における 地元経済対策に奔走中！



西村康稔新型コロナ対策担当大臣に、宿泊業に係る緊急要望！

新型コロナウイルス感染症拡大における地元経済対策に奔走中！

新型コロナウイルス感染拡大対策として、政府からの学校休校、大規模イベント自粛要請などにより、私たち地元沼津・駿東・伊豆半島の経済は大きな影響を受けております。特に、3月の年度末の決算時期と重なることで、資金繰りが逼迫し、経営状況に大きな影響を及ぼしています。

3月11日に、静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合の皆さまと共に、自民党本部にて林幹雄党観光立国調査会長、岸田文雄政調会長、そして新型コロナ対策担当大臣である西村康稔大臣のもとに伺い、観光業界の現状を訴え、緊急融資体制をスピーディかつ柔軟に構築していくことを求めました。

銀行出身の議員として、党金融調査会等においても発言してきましたが、今回の新型コロナにおける地域経済の危機において、別枠での緊急融資と既存融資の返済条件変更等の対応を金融庁を通じて早急に地元金融機関に強く求め、一人として取り残されることのないよう一丸となってこの危機を乗り越えてまいります。

さらに、西村大臣からは「4月以降の観光業のV字回復に向けてしっかりと経済対策を打っていくこと」をお約束いただきました。

観光業だけでなく、製造業やサービス業といった様々な業種において大きな影響を受けております。

資金繰り等、経営でお困りの方がいらっしゃいましたら、遠慮なく勝俣事務所までご相談ください！



林幹雄幹事長代理・党観光立国調査会長に要望！



岸田文雄政調会長に要望！

全校休校！こんな時こそ、ICT遠隔教育を！

私はこれまで、エアコン等の教育施設環境整備に尽力してまいりましたが、ICT教育の充実のため、小中学生に一人一台パソコン・タブレットの整備を目指しています。

令和元年度補正予算において、このような校内通信ネットワークの整備や一人一台端末整備等に対し総額2,318億円の予算を確保することができました。

まさに、児童一人一台の端末を確保できれば、新型コロナによる全校休校によって、学校に行けなくなっても、自宅でもどこでも学校の先生や友達と端末を通して教育を受けることが可能になるのです。

今後、地球温暖化による大型台風や豪雨、南海トラフ地震、またインフルエンザ等による長期の休校等が現実懸念される中で、ICT遠隔教育環境の整備が早急に必要であります。沼津・駿東・伊豆半島の地元の学校にもしっかりとご理解をいただきながら、未来のふるさとを担う子供たちの教育に一層の力を注いでまいります。

予算委員会にて梶山経済産業大臣に質問！

2月25日に衆議院予算委員会分科会で、梶山経済産業大臣にメガソーラー発電等の質問をしました。

伊豆半島も例外ではなく全国でもメガソーラー発電や大型洋上風力発電等、地域と事業者が共生のとれていない事業が散見されます。

地球温暖化が進む中で石炭火力発電の抑制、原発事故を受け原発依存度を低減していく中、再生可能エネルギーを推進していくうえで、再生可能エネルギー産業を健全な市場にしていかなければなりません。

地域と事業者が共生し、再生可能エネルギー産業を健全な市場に成長させていけるよう、梶山経済産業大臣に質しました。

梶山大臣も「悪質な事業者には厳正に対応し、健全な市場を作っていく」と答えました。